

「歯科技工のタイムスタディ調査・研究」

清水潤一 氏

2023年度最低労働賃金が10月以降から全国平均1004円に引き上げられるとともにインボイス制度も始まります。国の指針である働き方改革を歯科技工士が実現するためには経済的問題の解決なくしてはあり得ません。平成19年に歯科技工学会が行ったタイムスタディ調査のデータを素に本来歯科技工士が請求すべき適正な技工料金はいくらなのか？を諸外国の歯科事情と共にわかりやすく解説します。

「歯科技工業界におけるデジタルトランスフォーメーションの勧め」

櫻井靖之 氏

近年、歯科治療にデジタル機器が取り入れられるようになり、我々の行う技工業務においても、従来の作業の多くがデジタル化が進んでいる。例えばハンドメイドで行われていたワックスアップは、CADソフト上での作業となり、また鑄造に変わり切削加工機による加工が主たる作業となっている。

それにより作業効率の向上などに一定の結果を得ていることは、周知の事実である。但し、デジタル化とは、ITツールの導入やデジタルデータ・デジタル技術の導入の活用など『戦術』であり、トランスフォーメーション『変化』とは、組織改革やビジネスモデルの変革のことである。この2つが併せ持つDX(デジタルトランスフォーメーション)と言われている。以上を踏まえた上で、弊社が取り組んでいるDX化『戦略』(歯科治療の質の向上、作業効率のアップ)を紹介したい。